

# 2015年度 決算説明会

2016年2月12日

サントリー食品インターナショナル株式会社

**SUNTORY**  
SUNTORY BEVERAGE & FOOD

# 2015年度の振り返り

---

代表取締役社長 鳥井信宏

# 2015年度 業績ハイライト

	2015年度	前年比
売上高	13,810億円	+9.8%
営業利益	920億円	+7.0%
当期純利益	425億円	+17.2%

# 2015年－2017年 経営戦略の初年度

## 2015年－2017年 経営戦略のポイント

### 重点エリアにフォーカス

既存エリアに、新興市場を加えた約20カ国に重点  
各エリアで存在感のあるポジションを確立

ブランド強化、新価値商品投入により需要を創造  
流通基盤、生産基盤の強化

生産コスト削減を継続

### 統合的な発展への進化

グローバルチャレンジブランドの育成

# 2015年度の取り組み

## ブランド強化

既存ブランドを一段と強化  
高付加価値製品(ヨーグリーナ等)がヒット



## 流通基盤の強化

ジャパンビバレッジ等が加わり、総合飲料サービスの基盤獲得  
スペインの業務用でペプシコ社と協業開始



## 生産コスト削減

白州工場新ライン、榛名工場のボトル缶コーヒーラインが稼動  
ベトナムでペットボトルのプリフォームを製造開始

# Our Vision

## ＜お客様に提供したい価値＞

A quest for the best tastes & quality  
to bring happiness & wellness into everyday life.

**お客様の生活に幸せと健康をもたらす  
とっておきの おいしさと品質を追い求め続けること**

## ＜目指す姿＞

To be the leading global soft drink company  
recognized for our premium and unique brands.

**上質でユニークなブランドで認められる  
飲料業界のグローバル・リーディングカンパニー**

# 5年間の振り返り

グローバルでの事業基盤の構築

国内の収益構造改革、総合飲料サービス提供事業の基盤獲得  
国、地域を越えたブランド展開がスタート

グローバル競争を勝ち抜く経営力が増す  
展開エリアの充実により収益安定性が高まる



# 2016年度見通し

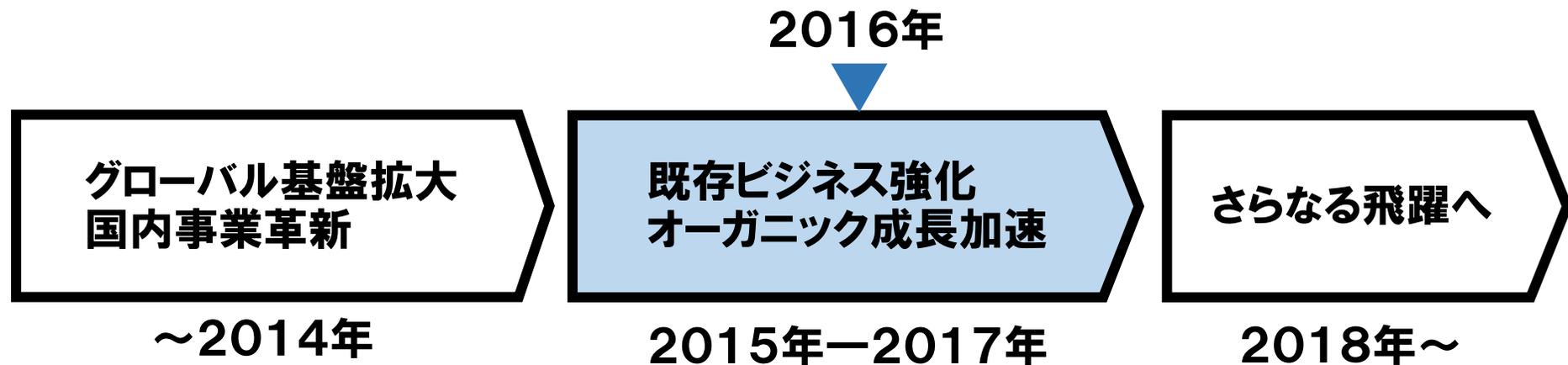
---

**取締役副社長 小郷三朗**

# 2015年ー2017年 経営戦略の2年目

## 2015年ー2017年 経営戦略のポイント

重点エリアにフォーカス  
各エリアで存在感のあるポジションを確立  
統合的な発展への進化



**既存事業の成長と収益力強化**

**新たなビジネスモデルへの挑戦**

**グローバルシナジーの発揮**

## 主要ブランドの強化/重点エリアにフォーカス



## JBの持つビジネスモデルの獲得



自動販売機



カップ機



Smart Cafe®



コーヒー  
マシン



給茶機

メーカー機、ミックス機、カップ機、コーヒーマシン、給茶機といった  
フルラインサービスがそろっ

# 新たな付加価値を加えたソリューションの提供 (総合飲料サービス提供事業)



「飲む」を通じて魅力的なオフィス環境を創造し、  
オフィスで働く人々の幸せに貢献する

リフレッシュ  
メント

健康増進

コミュニケー  
ション促進

知的生産性  
向上

## 分社化による売上・収益向上の加速



## 各社の知見を相互活用した新製品の開発/展開



生産コスト面、人材面でもグループの知見を活用

# 2016年度業績見通し

## 2016年度予想

前年比

為替中立

売上高

14,300億円

+3.5%

+6.6%

営業利益

900億円

△2.2%

+3.2%

当期純利益(\*)

405億円

△4.6%

+0.1%

(\*) 親会社株主に帰属する当期純利益

# 決算補足説明

---

常務執行役員 齋藤和弘

# 2015年度 決算概要

	2014年 実績	2015年 実績	対前年	
			増減	増減率
売上高	12,573 億円	13,810 億円	+1,237	+9.8%
営業利益	859 億円	920 億円	+61	+7.0%
利益率	6.8%	6.7% (*1)		
当期純利益	362 億円	425 億円	+62	+17.2%
利益率	2.9%	3.1%		
EBITDA(*2)	1,611 億円	1,755 億円	+145	+9.0%
のれん償却前 当期純利益(*3)	613 億円	697 億円	+84	+13.7%

(\*1) ジャパンビバレッジグループ、ジェイティエースターグループの連結影響を除くベースでは7.2%

(\*2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

(\*3) のれん償却前当期純利益 = 当期純利益 + のれん償却額

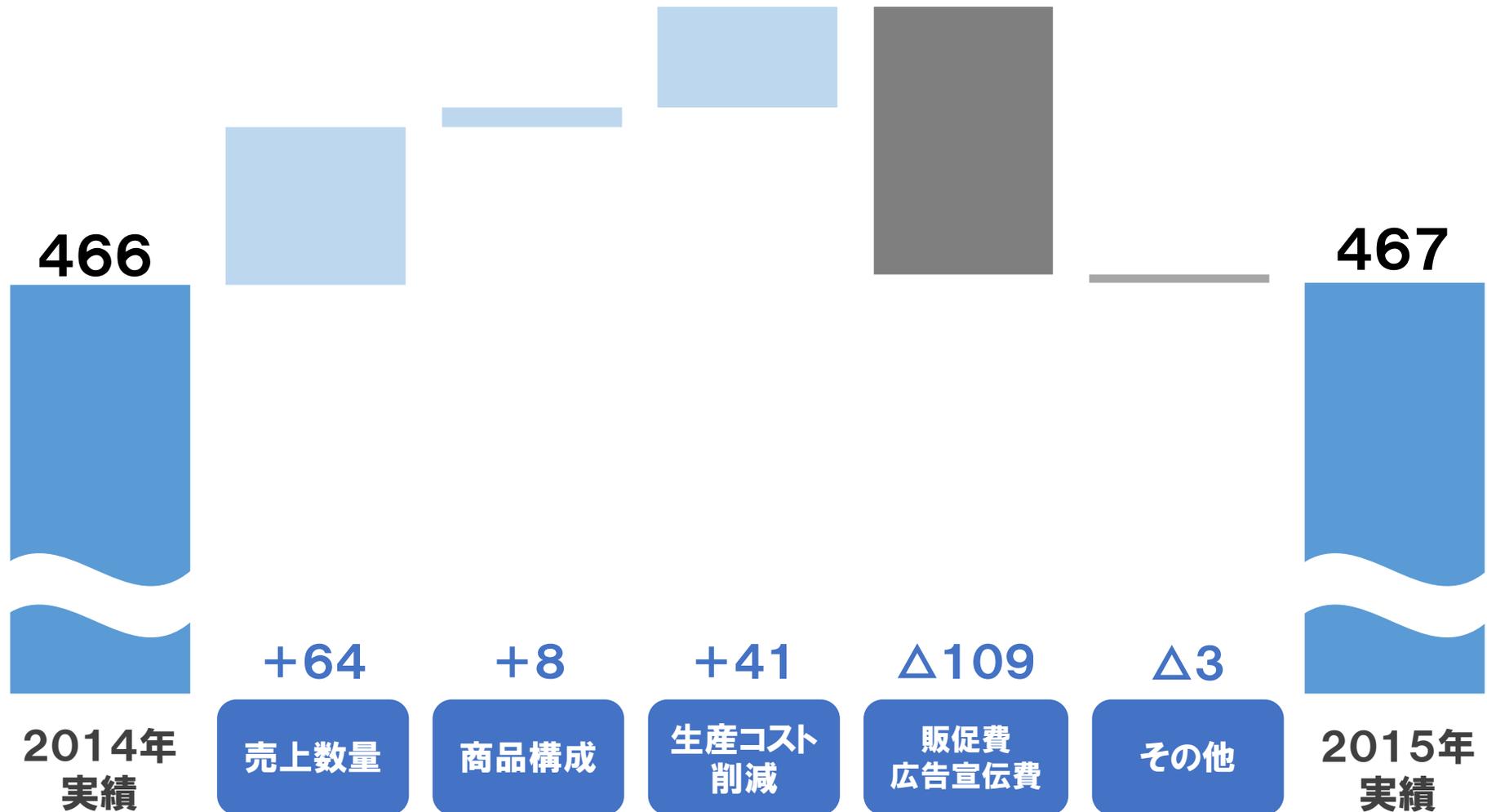
# 2015年度 国内 競争厳しい中、増益確保

	2014年 実績	2015年 実績	対前年	
			増減	増減率
売上高	7,223 億円	8,069 億円	+846	+11.7%
セグメント利益	466 億円	467 億円	+1	+0.2%



# 2015年度 国内利益増減要因

(単位:億円)



# 2015年度 ジャパンビバレッジ等の連結影響

2015年実績

対前年増減

JB等の連結影響(\*)

売上高 13,810 億円 +1,237 +503

国内 8,069 億円 +846 +503

JB連結に伴う売上増分 +503

営業利益 920 億円 +61  $\Delta$ 36

国内 467 億円 +1 +7

JB等の売上に伴う利益 +21  
在庫評価に伴う利益減  $\Delta$ 7  
無形固定資産の償却費  $\Delta$ 6  
その他  $\Delta$ 1

調整額  $\Delta$ 43

のれん償却費  $\Delta$ 28  
新規連結に伴う一時費用  $\Delta$ 15

\* JB等の連結影響: ジャパンビバレッジグループ、ジェイティエースターグループを15年7月末に連結子会社化した影響

# 2015年度 国際 売上高

売上高	2014年 実績	2015年 実績	対前年		
			増減	増減率	為替中立
国際計	5,350 億円	5,741 億円	+391	+7.3%	+4.0%
欧州	2,565	2,542	△23	△0.9%	△0.2%
アジア	1,545	1,805	+260	+16.8%	+10.4%
オセアニア	445	456	+11	+2.6%	+6.9%
米州	795	937	+142	+17.8%	+2.9%

# 2015年度 国際 セグメント利益

セグメント利益	2014年 実績	2015年 実績	対前年		
			増減	増減率	為替中立
国際計	644 億円	740 億円	+96	+14.9%	+12.5%
欧州	395	440	+45	+11.3%	+13.5%
アジア	104	136	+32	+30.4%	+18.6%
オセアニア	56	59	+3	+4.8%	+10.1%
米州	88	105	+17	+19.1%	+3.1%

# 欧州 シュウェッップス等、業務用が拡大

2014年  
実績

2015年  
実績

対前年増減率

為替中立

組み替え\*

売上高	2,565 億円	2,542 億円	△0.9%	△0.2%	+2.5%
セグメント利益	395 億円	440 億円	+11.3%	+13.5%	



\*組み替え: 2014年は欧州に計上したアジア、オセアニアにおけるルコゼード、ライビーナの売上を、2015年は各エリアに計上した影響を除く

# アジア ベトナムが売上、利益をけん引

2014年  
実績

2015年  
実績

対前年増減率

為替中立

組み替え\*

売上高

1,545 億円

1,805 億円

+16.8%

+10.4%

+7.1%

セグメント利益

104 億円

136 億円

+30.4%

+18.6%



\*組み替え: 2014年は欧州に計上したアジア、オセアニアにおけるルコゼード、ライビーナの売上を、2015年は各エリアに計上した影響を除く

# オセアニア Vを含め、製品ポートフォリオを強化

2014年  
実績

2015年  
実績

対前年増減率

為替中立

組み替え\*

売上高

445 億円

456 億円

+2.6%

+6.9%

+2.7%

セグメント利益

56 億円

59 億円

+4.8%

+10.1%



\*組み替え: 2014年は欧州に計上したアジア、オセアニアにおけるルコゼード、ライビーナの売上を、2015年は各エリアに計上した影響を除く

# 米州 売上、利益ともに安定

	2014年 実績	2015年 実績	対前年増減率 為替中立	
売上高	795 億円	937 億円	+17.8%	+2.9%
セグメント利益	88 億円	105 億円	+19.1%	+3.1%



# 2016年度 業績予想

	2015年 実績	2016年 予想	対前年		
			増減	増減率	為替中立
売上高	13,810 億円	14,300 億円	+490	+3.5%	+6.6%
営業利益	920 億円	900 億円	△20	△2.2%	+3.2%
利益率	6.7%	6.3%			
当期純利益(*1)	425 億円	405 億円	△20	△4.6%	+0.1%
利益率	3.1%	2.8%			
EBITDA (*2)	1,755 億円	1,800 億円	+45	+2.5%	+7.2%
のれん償却前 当期純利益 (*3)	697 億円	700 億円	+3	+0.4%	+5.5%

(\*1) 2016年予想の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益

(\*2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

(\*3) 2016年予想 のれん償却前当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却額

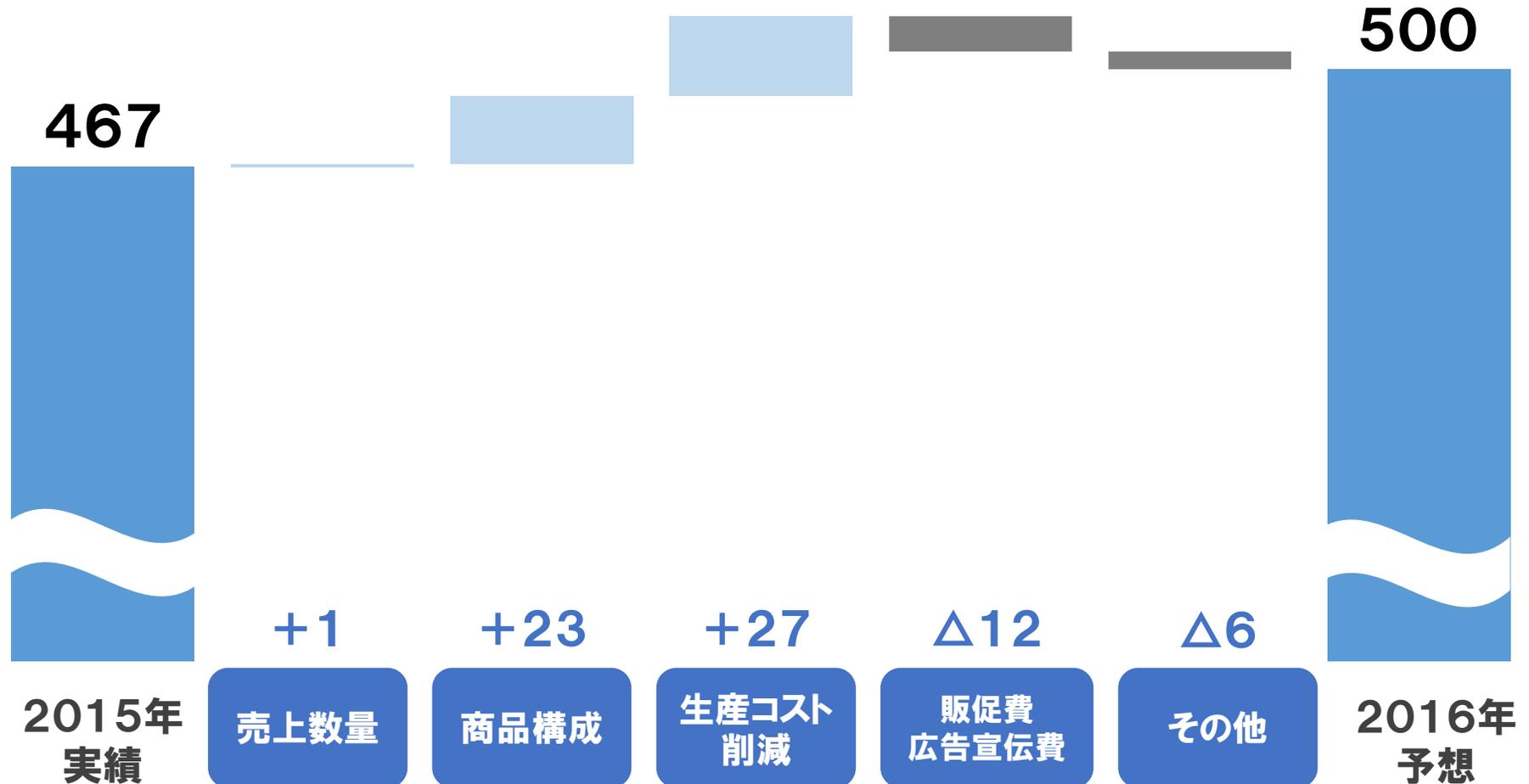
# 2016年度予想 国内 高付加価値製品を強化

	2015年 実績	2016年 予想	対前年	
			増減	増減率
売上高	8,069 億円	8,700 億円	+631	+7.8%
セグメント利益	467 億円	500 億円	+33	+7.0%



# 2016年度予想 国内利益増減要因

(単位:億円)



# 2016年度予想 国際 売上高

売上高	2015年 実績	2016年 予想	対前年		
			増減	増減率	為替中立
国際計	5,741 億円	5,600 億円	△141	△2.5%	+4.7%
欧州	2,542	2,435	△107	△4.2%	+4.3%
アジア	1,805	1,830	+25	+1.4%	+8.1%
オセアニア	456	420	△36	△7.9%	+2.5%
米州	937	915	△22	△2.4%	+0.2%

# 2016年度予想 国際セグメント利益

セグメント利益	2015年 実績	2016年 予想	対前年		
			増減	増減率	為替中立
国際計	740 億円	695 億円	△45	△6.1%	+2.4%
欧州	440	410	△30	△6.9%	+1.9%
アジア	136	137	+1	+0.7%	+13.7%
オセアニア	59	45	△14	△23.1%	△16.1%
米州	105	103	△2	△2.3%	+0.5%

# 欧州 戦略ブランドに経営資源を集中

2015年  
実績

2016年  
予想

対前年増減率

為替中立

売上高

2,542 億円

2,435 億円

△4.2%

+4.3%

セグメント利益

440 億円

410 億円

△6.9%

+1.9%



# アジア 成長加速に向け基盤整備

2015年  
実績

2016年  
予想

対前年増減率

為替中立

売上高

1,805 億円

1,830 億円

+1.4%

+8.1%

セグメント利益

136 億円

137 億円

+0.7%

+13.7%



# オセアニア 製品ラインナップを継続強化

2015年  
実績

2016年  
予想

対前年増減率

為替中立

売上高

456 億円

420 億円

△7.9%

+2.5%

セグメント利益

59 億円

45 億円

△23.1%

△16.1%



# 米州 非炭酸カテゴリーを強化

2015年  
実績

2016年  
予想

対前年増減率

為替中立

売上高

937 億円

915 億円

△2.4%

+0.2%

セグメント利益

105 億円

103 億円

△2.3%

+0.5%



# 主要為替レート

(単位:円、期中平均)

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 予想
米ドル	105.8	121.1	118.0
ユーロ	140.3	134.3	125.0
英ポンド	174.2	185.2	165.0
シンガポールドル	83.5	88.1	85.0
ニュージーランドドル	87.8	84.7	76.0
豪ドル	95.4	91.1	82.0

# 本資料取扱上の注意点

**本資料は情報提供のために作成されたものであり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。本資料には、当社又は当社グループの今後の業績等に関連して将来に関する記述を含んでおります。将来に関する記述は、現在入手可能な情報を踏まえて、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等は、これらの種々の要素によって変動するため、本書作成時点と異なる可能性もあります。当社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。**